

事業計画期間	2023-2025年度	期間中の補助対象事業費 (カッコ内は2024年度の補助対象事業費)	187,371千円(75,931千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野（詳細）	まちづくり分野
目的（効果）	- 本市の基幹産業である尾州テキスタイルのブランド力向上のためのイベント開催 - 関係人口の創出を目的とした国際芸術祭「あいち2022」のレガシーを活用したアートイベントなどを展開 - 上記の2点の関連イベントを開催し、中心市街地に若者や女性などを呼び込む		
概要	「アート」「尾州」をキーワードに、三つの視点により「芸術を切り口とした仕掛けと歴史の再認識による新たな関係人口の創出」、「『尾州（BISHU）』ブランド力向上による産業の振興」、「民と官の連携と共鳴による活力ある中心市街地への再生」を目指す「Ito（Ichinomiya to …）Project」を実施する。		
2024年度 事業内容 (カッコ内は補助対 象事業費)	■ <u>まちなかでのアートイベント（計：5,000千円）</u> 当市が会場の一つとなった国際芸術祭「あいち2022」のレガシーを継承していくため、本展の出展作家の作品を展示したり、尾州の布や糸を使ったワークショップを開催するほか、一宮駅周辺を尾州生地で装飾した。		
	■ <u>博物館企画展「いちのみやの文化財」（計：2,931千円）</u> 2023年に愛知県登録文化財となった妙興寺所蔵の木造弁才天坐像、木造南無仏太子立像をはじめとした一宮市内の国・県・市指定文化財、登録文化財を中心に紹介した。		
	■ <u>三岸節子記念美術館特別展「生誕130年 武井武雄展」（計：10,000千円）</u> 「童画」という言葉を生み出し、今に続く児童文化の礎を築いた芸術家・武井武雄(1894－1983)の幻想にあふれる創作世界の全貌を紹介する展覧会及び関連催事を行った。		
	■ <u>尾西歴史民俗資料館特別展「尾州の養蚕と製糸」（計：1,000千円）</u> 尾張地方北部に展開した養蚕業と製糸業、その関連産業に加え、蚕にまつわる信仰や文化について紹介した。		
	■ <u>尾州ブランドを活用した総合イベント「BISHU FES.」（負担金：26,500千円）</u> 尾州ブランドを全国にPRするため、海外のショーに参加するレベルの外国人を含むトップモデルが出演し、「BISHU THE SHOW」等を10月に実施した。		

報告資料【文化と伝統・まちなかのRe-ブランディングによるエリアの価値向上】

2024年度 事業内容 (カッコ内は補助対 象事業費)	■ <u>地元企業との連携による尾州関連製品の展示販売（計：3,000千円）</u> 7月の一宮七夕まつりにおいて、尾州の布にプリントを行うワークショップを行ったり、地元企業と連携し尾州物産展を行った。				
	■ <u>一宮七夕まつりとの連携（3,500千円）</u> 7月の一宮七夕まつりにおいて、一宮市が舞台となった映画「BISHU～世界でいちばん優しい服～」のトークショーや尾州生地衣装を使ってダンスパフォーマンスなどを行い、来場者に尾州をPRした。				
	■ <u>商店街イベントとの連携（2,000千円）</u> 商店街で実施していた既存のマルシェや10月のBISHU FES.において、尾州製品の販売などの連携事業を実施した。				
	■ <u>まちなかウォークブル推進事業（22,000千円）</u> 居心地が良く歩きたくなる空間形成を目指し、道路などの公共空間を利活用したイベントの企画/運営を行った。また、まちづくり拠点として有効活用できる地域資源の調査を行った。				
KPI	項目	事業開始前	2023年度	2024年度	2025年度
	本事業で実施したイベントの参加者数	0人	70,482人 (28,000人)	43,674人 (31,000人)	(34,000人)
	いちのみや応援寄附金の寄附件数	2,280件	2,085件 (2,353件)	2,023件 (2,426件)	(2,500件)
	株式会社ブランド総合研究所 「地域ブランド調査」認知度	30.5点	31.9点 (33.3点)	31.8点 (36.1点)	(38.9点)
	一宮駅周辺地区の居住人口	17,758人	17,736人 (17,838人)	17,793人 (17,919人)	(18,000人)

※（ ）内の数値は目標値